

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 小規模多機能ホーム ハッピーハウス

施設種類： 小規模多機能型居宅介護

日時：令和 8 年 8 月 18 日(火) 午前 10 時 30 分～11 時 30 分

会場：出雲市東部健康交流館 うるおいの郷

出席者
(人数)

利用者、家族	1 人	高齢者あんしん支援 センター職員	1 人
地域住民の代表	4 人	出雲市職員	2 人
その他 (施設役員、管理者)			2 人

(議題)

1. 登録実績と利用状況
2. 職員体制
3. 行事・レクリエーション報告
4. その他【令和 8 年度サービス評価 説明と意見集約】

(報告事項)

1. 登録実績と利用状況について
年齢、性別、介護度、家族状況、生活圏、月毎にサービス
利用状況を報告。状態の変化に伴う援助内容の報告。
【別紙、サービス提供状況報告書を配布】
2. 職員体制
職員体制の報告。
常勤専従 7 名、常勤兼務 2 名、非常勤専従 6 名 計 15 名
(常勤 9 名と非常勤 2 名がサービス評価に取り組んでいる)
3. 行事・レクリエーション報告
お便り配布。6 月片寄社中踊りの会の皆さんによる歌と踊りを
披露して頂きました。衣装を纏って圧巻の男踊り、女踊り、次は
懐かしい歌謡曲や皆さん一緒に唱歌などもハワイアンレイを付け
賑やかに華やかに楽しむことができました。
7 月七夕会ではスタッフによる紙芝居や天の川に見立てたシート
から魚を釣り上げるゲーム也大漁で楽しまれていました。

4. その他

【令和8年度小規模多機能型居宅介護サービス評価について】

評価説明と意見集約を行い次回まとめ提出へ

【家族から】

小規模多機能を利用して良さは十分感じている。介護保険の制度の中で時間に縛られ決まりきったサービスでは、家族の生活も窮屈で仕方ないが、柔軟に対応して貰って本当に助かっている。久しぶりに会議に参加したのでサービス評価についても資料がなくアンケートもわからないとの回答が多くなってしまった。実際業務だけでも大変だと思うのに、評価項目に地域連携、地域交流などそこまで地域を考える事が要るのかと思って伺っている。ただ、災害時の対応についてどの様に対策されているのか疑問というか不安に思う所もある。災害発生時に自宅に居た場合等事業所として行政との取り決めがどうなっているのかと思う。

⇒【地域から】

★出雲市で要支援者名簿の整備があり地域としても把握して必要な方の避難プランの作成なども行われている。

ただ地域から事業所などへの連絡などはできないと思う。

【事業所】

★最終的にはご家族に安全に送り届けるが目的になると思うが非常災害時どんな状況になるのか想定は難しく訓練について机上訓練となるため感染症の研修、訓練とは違い明確でなくスタッフの不安も聞かれる。不安を払拭していく。

【行政から】

★業務継続計画の周知徹底と地域連携についても検討下さい。